～ 平田ロータリークラブ 週報 ～ No. 2005（平成 27 年 12 月 10 日）

■平田ロータリークラブ 事務局
〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F
TEL：0853-63-3232 ／ FAX：63-5365 ／ IP：050-5204-5816
URL：http://hirata-rotary.jp/ Mail：office@hirata-rotary.jp
9:00 ～ 17:00 （土・日曜・祝祭日 休局）

Rotary

世界へのプレゼントになろう

2015-2016 年度
国際ロータリー会長／ K. R. ラビンドラン　会長／ 河原 治子　副会長／ 田中 浩史
2690地区ガバナー／ 佐藤 芳郎　幹事／ 清原 正幸　会 計／ 田中 久雄

■■■ 例会プログラム ■■■

例 会 日	卓 話 者	演 題
12 月 10 日	会員 佐々木 哲也	成人用肺炎球菌ワクチンの定期予防接種制度について
12 月 17 日	松江市 中岡 篤 様	健康寿命を延ばしましょう！
12 月 24 日	加田 幹男 様	縁切り神社について

■■■ 出席報告 ■■■

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前々回補正出席率
45	33	12 (4)	80.49 %	78.57 %

■■■ 欠席者 ■■■
板垣／黒田／三好／石原俊／曽田／山口／園山／土江
（山根／牧野／木村／大谷厚）

■■■ 来訪者 ■■■ な し

■■■ メークアップ ■■■ な し

****

■■■ 次回例会受付当番 ■■■
（12 月 17 日） 小村益造／高砂明弘／田中浩史
（12 月 24 日） 板垣文江／恒松克己／内田節夫

■■■ 近隣クラブ例会情報（メークアップを考えましょう） ■■■

月	出雲中央 12/14 12/28(休) 1/4(休)	松江南 12/21 12/28(休)
火	出雲 12/15 12/29(休) 1/5(休) 1/19(休)	松江しんじ湖 12/29(休)
水	大社 12/23(休) 12/30(休) 1/6	松江 12/16 12/30(休)
木		松江東
金	出雲南 12/25(休) 1/8 1/22	

■■■ 会長挨拶 ■■■

リヒャルト・ニコラス・クーデンホーフ＝カレルギー伯爵

前回の例会でオーストリア出身のリヒャルト・ニコラス・クーデンホーフ＝カレルギー伯爵のことを取り上げた。

この方は、日本女性、青山光子を母親にボヘミアの貴族クーデンホーフ・カレルギー伯を父として東京で生まれた。次男であることから、日本名は、栄次郎と云う。ボヘミアとウィーンで育ち、ウィーン大学で法律、哲学、歴史を学んだ。優秀な成績で母親光子は前途有為な青年として期待を一身に集めていたが、光子は早くに夫を亡くし、又 その次男はヨーロッパ中で鳴りひびいた美人女優と駆け落ちし、同棲生活を始めてしまった。怒り狂った光子は、この息子を勘当して、親子は仲たがいをし、夫のいない淋しい生活に追われて、永い歳月がながれたが、第一次大戦で敗北したパプスブルグ帝国崩壊のあと第一英和国が発足して間もない1923年若いカレルギー伯は「汎ヨーロッパ」と題する本を出版した。
カレルギー伯は、第一次大戦で欧州諸国が戦い、すべての国が疲れ果ててしまったことをいましめ、「ヨーロッパの再建のために力をあわせよう！！」と問いかけた。この本が共感と勇気をおたえ、たちまちベストセラーとなった。光子もさすがにベストセラーに驚き誇りをもち、後に和解をしている。
この頃から台頭して来たナチス党にニコラスは反対運動をし、ヒットラーの逮捕予定者の筆頭にされ、逃避行をする運命となる。
日本に来訪された折に「日本の和の精神が私の血の中に流れていることも汎ヨーロッパ運動の思想のきっかけのひとつかも知れない」と話されている。名高い映画「カサブランカ」の主人公の一人、反ナチスのレジスタンス闘士、ラズロがこのリヒャルト・ニコラス・カレルギー伯がモデルと云われる。機会があったら、この映画をご覧いただきたい。

■■■ 幹事報告 ■■■
1. IMのご案内
日 時 2016 年 2 月 28 日（日） 13:00～17:50
会 場 ビッグハート出雲 出雲ロイヤルホテル
登 録 料 7,000 円
本日出欠表を回覧いたしております。
2. 曽田敏康会員より内祝いを頂きました。

■■■ 委員会報告 ■■■
プログラム委員会 ： 12・1・2 月予定表配布
クラブ広報委員会 ： 「ロータリーの友」12 月号の紹介

■■■ スマイル ■■■
河原 （先週3日の忘年会を楽しく演出して下さった親睦委員会の皆様に感謝し、会員の方々にもお出かけいただいてありがとう！！）
清原 （先週は忘年例会お疲れ様でした。親睦委員会の皆様、ご苦労様でした。 佐々木委員長本日のスピーチよろしくお願い致します。）
飯塚大 （佐々木先生のスピーチを楽しみにしております。）
佐々木 （歳末助け合い募金にご協力いただきありがとうございました。今日はスピーチさせていただきます。）
釜屋 （早退いたします。）

■■■ スピーチ・例会行事 ■■■

「成人用肺炎球菌ワクチンの定期予防接種制度について」
佐々木哲也 会員

12 月の「疾病予防と治療月間」にちなみ、肺炎球菌ワクチン予防接種についてお話しします。
肺炎は、細菌・ウイルスなどを病原体とする感染症で患者の多くは小児と高齢者です。咳・痰・発熱などの症状に加え、肺炎が重症化すると低酸素となり、入院を必要とする場合が多い疾患です。治療方法は抗菌剤投与と全身管理になりますが、重症の場合には集中治療室で人工呼吸治療を要することもあります。人口の高齢化に伴って、肺炎による死亡が増加しており、死因の第 3 位を占めています。

原因菌として“肺炎球菌”が最も多く、肺炎球菌に対する 23 価ワクチン接種によって約 5 年間肺炎予防効果が持続し医療費を抑制することが期待できるため、数年前から各市町村独自で公費助成導入が始まりました。出雲市でも平成 24 年 10 月から「満 75 歳以上」を対象に公費助成が始まり、25 年 4 月からは「満 70 歳以上」に拡大されました。
26 年 10 月からは国の制度として定期接種となりました。26～30 年度の 5 年かけて、65 歳以上の全ての国民を対象に 1 回の 23 価ワクチン予防接種が提供・助成されるものです。ただし過去に 23 価肺炎球菌ワクチン接種を受けたことのある方は、対象外であるほか、前回接種から 5 年以内に再接種すると副反応が強く出てしまうため控えるべきですので、案内が届いた方でも注意が必要です。5 年後の再接種は助成となりません。
13 価肺炎球菌ワクチンも、助成は受けられませんが、肺炎予防効果が高く、適切な間隔をとって 23 価ワクチンとの併用が勧められています。